

山海



第2工場(2022年完成)

- 本社所在地：島根県松江市
- 事業概要：食料品製造業
- 常時使用する従業員：110名
(2026年3月時点)
- 現在の売上高：26億円
(2026年3月期)
- 法人番号：8280001000294
- Web：<https://www.sankai-mdfoods.com/>

企業理念・100億宣言に向けた経営者メッセージ



代表取締役社長
荒木 英稀

『世界中の“おいしかった！”のために』 ～島根から世界へ～

カップ麺は1971年に誕生した日本発祥の食品です。当社はそのカップ麺向け乾燥具材製造を祖業とする企業です。創業以来、マイクロ波技術の開発に挑戦し続け、現在では多くの大手食品メーカーさまにお取引頂いています。しかしながら、将来に目を向けると、人口減少と高齢化の進展により国内市場の成長余力は限定的です。お取引先の多くが海外展開を実施されている中、当社もこの機会にしっかりと生産体制を再構築し、お取引先とともに世界中の消費者の食生活に驚きと喜び、快適さとやすらぎをお届けしていくことで、従業員をはじめとするステークホルダーの皆さまに夢と幸せと成長を実現し、そして地元島根の更なる発展に貢献したいと考えています。

売上高100億円実現の目標と課題

実現目標

2034年の売上高100億円達成を目標に掲げます。
そのため、現在2ヶ所に分かれて非効率となっている生産設備を1ヶ所に集約し、商品の多様化も重なって低水準となっている実質稼働率を改善するとともに、段階的に生産ラインを増設していくことで、引き合いが増加している海外需要にも対応できる強固な生産体制を構築します。また、将来の更なる発展の礎となる独自技術の高度化と新商品開発にも積極的に取り組んでいきます。

課題

- 2つの工場が離れており、人員配置等様々な非効率が発生
- 本社工場の老朽化(新築から50年以上が経過)
- 取引先からの増産ニーズは多いが、現有生産能力はほぼ限界
- 国内および海外への安定供給(サプライチェーンの強靱化)

売上高100億円実現に向けた具体的措置

目指す成長手段

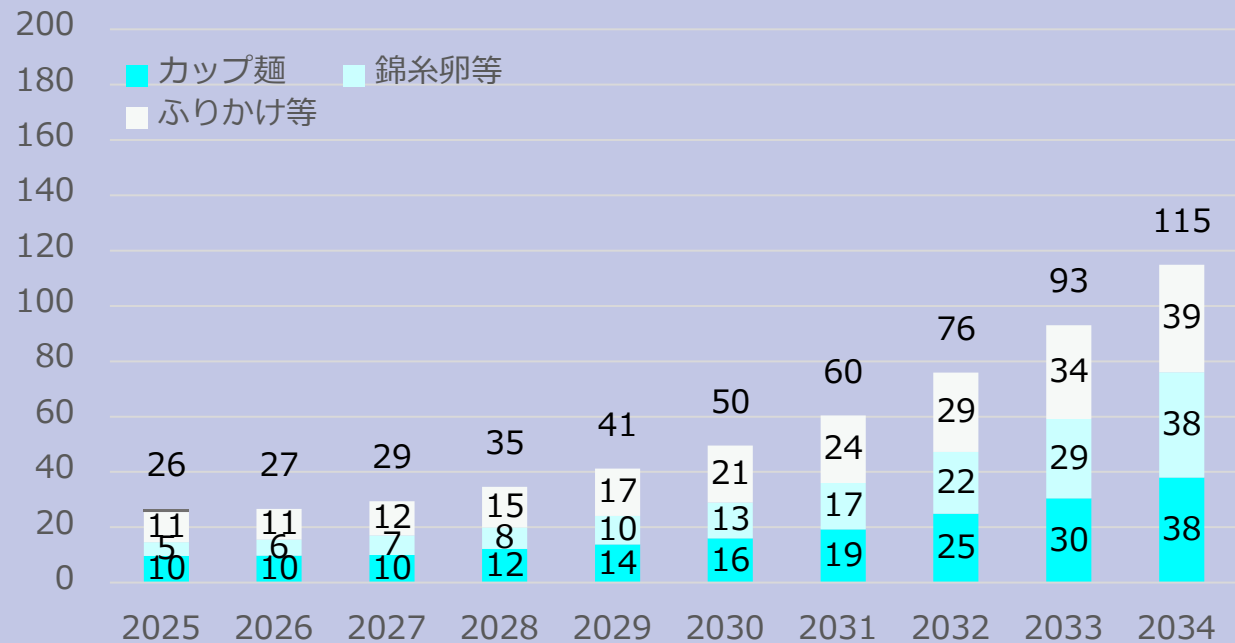
- 新本社工場の新築と生産ラインの集約
- 生産ラインの増設と効率化
- 独自のマイクロ波技術の進化とニーズに即した新商品開発
- “連携事業継続力強化計画”の高度化

実施体制

- 新本社工場建設のための課題解決と実施体制の強化
- 生産ライン効率化のためのAX、DX実施体制の構築
- 開発部門と営業部門の融合による、イノベティブな新商品開発体制の確立
- ハードの整備と連携体制の複線化が一体となったBCPの構築

売上高100億円実現の目標と課題

【売上高】


100億
達成

【具体的措置①】

新本社工場の新築と生産ラインの集約

2022年に取得した第2工場の隣接地に新本社工場を新築し、本社機能とともに、老朽化している本社の生産ラインを移設することで、1ヶ所に集約する。

【具体的措置②】

生産ラインの増設と効率化

新本社および第2工場の余裕スペースに、段階的に生産ラインを増設していく。また、AX・DXを活用して生産ラインの運用を改善・効率化し、実質稼働率を向上させる。

【具体的措置③】

独自のマイクロ波技術の進化とニーズに即した新商品開発

創業以来50年間、挑戦し続けているマイクロ波技術を更に進化させ、イノベーションを実現するとともに、国内外の様々な取引先と連携し、世界中の消費者の嗜好に合った新商品を開発・提案していく。

【具体的措置④】

“連携事業継続力強化計画”の高度化

生産拠点を1ヶ所に集約することで、複数の地元仕入先と連携して作成していた既存の“連携事業継続力強化計画”をさらに高度化し、国内外への更なる安定供給に努めていく。